

オンデマンド授業実施に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド授業	対面授業	予定していた成績評価方法	オンデマンド授業に伴う成績評価方法（変更後）	備考
1	前	選択	1	文学の世界（教養）	*松本	○		平常点60%(小テスト・ミニッツペーパー)/期末テスト40%	変更なし	
1	前	選択	1	歴史と社会（教養）	*眞杉	○		定期試験70%、平常点30%（小テスト、コミュニケーションペーパー）	平常点(課題提出)40%、期末レポート60%	
1	前	選択	1	地球環境論（教養）	*河野	○		授業態度及び講義時に不定期に実施する小レポート(30%)、レポート課題(70%)	小レポート課題全8回（70%）、レポート課題（30%）	
1	前	選択	1	政治と社会（教養）	*北村	○		定期試験70%、平常点30%(レポート)	授業貢献度30%（授業の参加度、コメント）、期末レポート70%	
1	前	選択	1	基礎心理学（教養）	*中田	○		穴埋め・選択式の小テスト×2（30%）、振り返りワークシート（30%）、記述式のレポート（40%）により評価します。小テストについては、体調不良などで欠席せざるを得なかった場合のみ、次の講義終了後に受験可とします。代筆および剽窃に関与した人は全員0点とします。	振り返りワーク（50%）、記述式のレポート（50%）により評価します。振り返りワーク およびレポートについて、代筆および剽窃に関与した人は全員0点とします。	
1	前	選択	1	法と社会（教養）	*謝	○		平常点（コメントシート）（40%）、中間レポート・期末レポート（各1回：60%）。なお、授業中のコメントシートの代筆は認めない。	オンデマンド授業の内容に関する小テスト8回（40%）、期末レポート（60%）	
1	前	選択	1	経済の世界（教養）	*BAE JUNSUB	○		授業中に講師がする質問への回答など平常の貢献20%、（グループ）プレゼンテーション40%、期末試験40%	レスポンスシートの提出40%、期末レポート60%	
1	前	必修	1	数学1	永田	○		課題(レポート、リアクション・ペーパー)20%と小テスト(1回)及び期末試験80%を用いて総合的に評価します。	課題(20%)と期末試験(80%)で評価します。	
1	前	必修	1	数学1	竹本	○		定期試験結果（80%）とレポート1回・小テスト2回（20%）により評価する。	定期試験結果（80%）とレポート8回（20%）により評価する。 ※ Web 試験の場合、定期試験をレポート2回分とみなし、定期試験結果（20%）とレポート8回（80%）により評価する。	
1	前	必修	1	物理学1	竹本	○		定期試験結果（80%）とレポート3回（20%）により評価する。	定期試験結果（80%）とレポート8回（20%）により評価する。 ※ Web 試験の場合、定期試験をレポート2回分とみなし、定期試験結果（20%）とレポート8回（80%）により評価する。	
1	前	必修	1	アカデミックスキル	大桃・井上晴・宮崎・佐藤卓・竹本・長谷井・河合・倉田	×		各講ごとに提出を求めるワークシート・振り返りシートの内容（50%）、および3回の提出課題の内容（レポートおよびレジュメ、50%）により評価します。	—	前期は開講しない（後期開講を検討中）
1	前	必修	1	化学演習	山田	○	○	小テスト、最終テストなどの授業中に行う試験結果（80%）、および授業への取り組み方、発表態度（20%）により評価する。	課題演習8回（50%）、対面講義の最終回で行う試験（50%）	オンデマンド4コマ、対面4コマ
1	前	必修	1	化学演習	尹	○	○	中間テスト2回の試験結果（70%）、および提出物の評価と授業への取り組み(30%)により評価する。	中間テスト1回の試験結果（70%）、および提出物の評価と授業への取り組み(30%)により評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ
1	前	必修	1	化学演習	箕浦	○	○	中間テスト2回の結果(70%)、演習時に行う小テスト(30%)により評価する。	中間テスト1回の結果(70%)、および提出物の評価と授業への取り組み(30%)により評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ
1	前	必修	1	化学演習	浅野	○	○	小テスト10回分、中間テスト2回分の結果をそれぞれ全体の40%、および60%用いて評価する。	オンデマンド講義で毎回行う小テスト、及び対面講義で2回行うテストをそれぞれ全体の50%ずつ用いて評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ
1	前	必修	1	化学演習	平田雅	○	○	小テスト・中間テスト等の試験結果（60%）、提出物の評価（40%）により評価する。	中間テスト等の試験結果（60%）、提出物の評価（40%）により評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ
1	前	必修	1	化学演習	山沖	○	○	中間テストの試験結果（80%）、および小テストや授業への取り組み方（20%）により評価する。	中間テストや小テストの試験結果（80%）、および課題提出や授業への取り組み方（20%）により評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
1	前	必修	1	化学演習	藤嶽	○	○	約10回の小テスト及び授業への取り組み方（50%）、中間テスト結果（50%）により評価する。	オンデマンド授業での課題（50%）、対面授業時の試験結果（50%）により評価する。	オンデマンド4コマ、対面4コマ
1	前	必修	1	化学	大桃・山田・尹・箕浦・浅野・平田雅・山沖・藤嶽	○		定期試験結果（90%）、小テスト・中間テスト等の試験結果（10%）により評価する。	変更なし	
1	前	必修	1	英語リスニング1	スミス	○		課題：リスニングの記録（20%）、語彙小テスト（30%）、発表（10%）、試験（40%）	授業の課題（40%）、語彙小テスト（30%）、リスニング自習の記録（30%）	
1	前	必修	1	英語リスニング1	田邊	○		小テスト結果（60%）と発表・積極的な発言（40%）により評価する。	課題100%	
1	前	必修	1	英語リスニング1	*神前	○		期末テスト60%、平常点40%（12回の授業におけるグループ発表回数20%、12回の授業で実施する専門用語小テスト20%）	平常点：50%（内訳：単語テスト25% 課題25%） Takehome タイプの期末テスト（所謂、教室で実施する定期試験ではなく、各自で解答し提出する。記述式の問題を含むものと考えています）：50%	
1	前	必修	1	英語リスニング1	*武井	○		授業内試験(60%)、授業への積極的な参加(10%)、小テスト（10回）(30%)	レポート（課題）100%	
1	前	必修	1	英語リーディング1	楠瀬	○		定期試験80%と小テスト20%により評価する。	Dictation Testx8=(40)+Assignmentx6=(30)+Final Assignment(30)=100	
1	前	必修	1	英語リーディング1	*井上径	○		定期試験結果（60%）授業貢献度（小テスト、予習、発表状況など）（40%）	課題で評価する（100%）	
1	前	必修	1	英語リーディング1	*大神	○		期末試験（試験期間に行うペーパーテストの結果）：60% 授業活動（予習・復習と授業活動への取り組み状況を評価）：20% 復習テスト（毎回の授業時に行う復習・確認テストの結果）：20%	小テスト等の実施が難しい状況をふまえ、成績評価は ①授業課題の実施状況（50%） ②期末筆記試験（50%） の2項目を通じて行うことといたします。 内容の詳細については初回授業ビデオで説明します。	
1	前	必修	1	英語リーディング1	*藤本	○		小テスト30%、レポート30%、まとめの確認テスト40%	変更なし	
1	前	選択必修	1	ドイツ語1	阪本	○		・授業への参加態度（アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、宿題の提出、小テスト）…40% ・授業内試験（筆記、音読）…60%	授業内課題…50%、授業内試験（筆記）…50%	
1	前	選択必修	1	フランス語1	*沼田	○		授業内期末試験50%、プレゼンおよび課題提出50%	課題提出による成績評価を行う（100%）	
1	前	選択必修	1	中国語1	*陳	○		授業内期末試験結果（40%）、小テスト（20%）、授業への参加度*（40%）により評価する。 *グループワークにおいて、グループの一員としてアクティビティに参加しているか。また発話の順番がまわってきた際に、積極的に発話しているか。	授業内期末試験結果40%、小テスト30%、課題の提出30%により評価する。	
1	前	選択必修	1	ハングル1	*李	○		小テスト40%、期末試験30%、課題30%	期末試験（50%）、課題（50%）	
1	前	必修	1	身体運動科学	当麻	○		定期試験50%、平常点50%（レポート30%、小テスト（1回）20%）	レポート課題100%	
1	前	必修	1	薬学入門	学長・松村・永井・中村敏・藤森・天満・阪本・友尾・角山	○		各回の講義に関連したレポート等により評価する。 講義に関連した提出物の提出状況40%、記載内容60%	各回の講義に関連したレポート等により評価する（講義に関連した提出物の提出状況40%、記載内容60%）。定期試験は行わない。	
1	前	必修	1.5	基礎有機化学	和田俊・浦田・宇佐美・平野・山田・米山・菊地・平田佳・林淳・葉山	○		定期試験（90%）と小テスト（10%）により評価する。	定期試験（80%）と課題（20%）により評価する。	
1	前	必修	1	生物学	藤森	○		定期試験（100%）	変更なし	

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
1	前	必修	1.5	薬用植物学	谷口	○		定期試験結果（90%）とレポート（10%）により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必修です。	定期試験結果（90%）と復習課題（10%）により評価する。ただし、最終評価を受けるには定期試験の得点率が60%以上であることが必修です。	
1	前	必修	1	医療人マインド	中村敏・角山	○		質問表の提出状況20%、課題提出状況20%、提出課題の内容60%	課題等の提出状況40%、提出課題等の内容60% 定期試験は行わない。	
1	前	必修	0.5	基礎薬学実習	土井光・大桃・浅野・加藤巧		○	最終的な成績は、試験(60%)、各実験項目の完了(20%)、レポート(20%)で評価します。試験では、器具の名称・操作方法、試薬の調製方法、イオン反応、溶液濃度とpHの求め方など、実技と密接に関係した内容を問います。単位認定には2/3以上の出席とレポート提出が必修です。ただし、最終評価を受けるためには試験得点が60%以上である必要があります。	変更なし	
1	前	必修	1	情報科学演習	永井（教務部長）		○	毎回の練習課題(50%)、総合課題(50%)を総合して評価する。筆記試験は行わない。欠席・遅刻・早退は原則認めないこととする。	変更なし	
1	前	必修	1	スポーツ・運動実習1	当麻・*橋口・*宮田・*門川		○	身体活動量の確保、技能の向上(試合を滞ることなく進行できる基本的な技能)（50%）、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践（50%）	提出される課題報告書を評価対象（100%）とする。	オンデマンド方式による実施に変更
1	通年	必修	1	早期体験学習1	戸塚（早期体験学習委員長）・中村敏・井上薫・芝野・幸田・角山・加藤隆・浅野・藤嶽・羽田・田中早	○	○	講義に関連したレポート等の提出状況40%、提出物の内容60%（臨床準備教育のルーブリック評価を含む）で評価する。	現時点で変更なし	施設見学の実施については検討中

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
2	前	選択	1	文学の世界（教養）	*松本	○		平常点60%(小テスト・ミニッツペーパー)/期末テスト40%	変更なし	
2	前	選択	1	歴史と社会（教養）	*眞杉	○		定期試験70%、平常点30%（小テスト、コミュニケーションペーパー）	平常点(課題提出)40%、期末レポート60%	
2	前	選択	1	地球環境論（教養）	*河野	○		授業態度及び講義時に不定期に実施する小レポート(30%)、レポート課題(70%)	小レポート課題全8回（70%）、レポート課題（30%）	
2	前	選択	1	政治と社会（教養）	*北村	○		定期試験70%、平常点30%(レポート)	授業貢献度30%（授業の参加度、コメント）期末レポート70%	
2	前	選択	1	基礎心理学（教養）	*中田	○		穴埋め・選択式の小テスト×2（30%）、振り返りワークシート（30%）、記述式のレポート（40%）により評価します。小テストについては、体調不良などで欠席せざるを得なかった場合のみ、次の講義終了後に受験可とします。代筆および剽窃に関与した人は全員0点とします。	振り返りワーク（50%）、記述式のレポート（50%）により評価します。振り返りワーク およびレポートについて、代筆および剽窃に関与した人は全員0点とします。	
2	前	選択	1	法と社会（教養）	*謝	○		平常点（コメントシート）（40%）、中間レポート・期末レポート（各1回：60%）。なお、授業中のコメントシートの代筆は認めない。	オンデマンド授業の内容に関する小テスト8回（40%）、期末レポート（60%）	
2	前	選択	1	経済の世界（教養）	*BAE JUNSUB	○		授業中に講師がする質問への回答など平常の貢献20%、（グループ）プレゼンテーション40%、期末試験40%	レスポンスシートの提出40%、期末レポート60%	
2	前	必修	1.5	数理統計学	永田	○		課題(レポート、リアクションペーパー)20%と期末試験80%を用いて総合的に評価します。	期末試験(100%)で評価します。	
2	前	必修	1	英語スピーキング1	スミス	○		課題（20%）、スピーキングテスト2回（20%）、語彙小テスト（30%）、筆記テスト2回（30%）	教科書各ユニットの課題（40%）、語彙小テスト（30%）、スピーキング課題2回（30%）	
2	前	必修	1	英語スピーキング1	*Guard	○		1. In-class tests 20% 2. Class participation (授業中の積極性) 20% 3. Final examination 20% 4. Writing and speaking assignments 40%	オンデマンド授業に対して毎回課題を提供してその答えを添削します。その答えが成績に70%に占める。期末試験が30%に占める。	
2	前	必修	1	英語スピーキング1	*Brotherton	○		Evaluation will be in the form of attendance(25%), preparation given as homework(25%), assignments(25%) and class presentations(25%).(=100%)	Evaluation will be in the form of assignments and homework (=100%) . (Attendance and class presentations cannot be evaluated under the current circumstances, unfortunately).	
2	前	必修	1	英語スピーキング1	*佐藤真	○		毎回の課題と授業での取組（20%）、スピーキングテスト2回（20%）、医療・薬学用語筆記テスト3回（30%）、前半・後半まとめの筆記テスト2回（30%）	教科書各ユニットの課題（40%）、語彙小テスト（30%）、スピーキング課題2回（30%）	
2	前	必修	1	英語ライティング1	田邊	○		期末試験結果（60%）と発表・積極的な発言（40%）により評価する。	課題100%	
2	前	必修	1	英語ライティング1	*Guard	○		1.Vocabulary assessments10% 2.Final examination 40% 3.Writing assignments 50%	オンデマンド授業対して毎回課題を提供してその答えを添削します。その答えが成績に70%に占める。3週間ごと語彙テストを行います。そのテストが30%に占める。	
2	前	必修	1	英語ライティング1	*堀	○		小テスト（前週学習内容の確認小テスト9回、前・後半のまとめ小テスト各1回の合計11回）50%、定期試験30%、学習ポートフォリオシートへの授業で学習したことの記入状況20%	授業期間中の課題50%、期末課題50%	
2	前	必修	1	英語ライティング1	*氏木	○		定期試験70%平常点30%（課題と小テスト）	定期試験なし 小さな課題30% 大きなライティングの課題 中間30% 期末40%	
2	前	選択	1.5	医工薬連環科学	永井・*寺崎・*倉田	○		レポート内容によって総合的に評価します（100%）。	変更なし	
2	前	必修	1.5	有機化学2	宇佐美・浦田・平野・山田・和田俊・米山・菊地・平田佳・林淳・葉山	○		定期試験結果（90%）とレポート点（10%）により評価する。	変更なし（今年度は各回の課題をレポート点に代用する）	

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
2	前	必修	1.5	物理化学2	土井	○		定期試験(100%)により評価する。	変更なし	
2	前	必修	1.5	分析化学2	佐藤卓	○		定期試験(85%)、プレテスト(5%)、ポストテスト(10%)とする。	定期テスト85%は変更なし。プレテスト、ポストテストの15%は動画の課題15%に変更。	
2	前	必修	1.5	放射化学	平田雅	○		定期試験結果(80%)、講義中に作成するレポート10回分(20%)により評価する。	変更なし	
2	前	必修	1.5	生化学2	井上晴	○		最終成績(y)は、定期試験の成績(x)に中間テストの点数(a)と平常点(b)を試験の点数に応じて一定の比率で加算した合計とする。ただし、平常点とはレスポンをういて毎回行う理解度チェックを含む小テストである。 $y=x+(a+b)(100-x)/100$ 。ただし、 $0 \leq x \leq 100$ 、 $0 \leq a \leq 30$ 、 $0 \leq b \leq 20$ 。	最終成績(y)は、定期試験の成績(x)にオンデマンド授業の課題点(a)を試験の点数に応じて一定の比率で加算した合計とする。 $y=x+a(100-x)/100$ 。ただし、 $0 \leq x \leq 100$ 、 $0 \leq a \leq 50$ 。	
2	前	必修	1.5	微生物学	駒野・宮本	○		定期試験(100%)により評価する。	変更なし	
2	前	必修	1.5	機能形態学2	大野	○		定期試験結果(100%)により評価する。	定期試験結果(70%)および復習課題レポート(30%)より評価する。	
2	前	必修	1	生物無機化学	天満	○		定期試験結果(90%)と小テスト(10%)により評価する。	定期試験結果(60%)と毎回の課題(40%)により評価する。	
2	前	必修	1.5	生薬学	芝野	○		定期試験結果(70%)、課題レポート(20%)、観察会で提出したレポート(10%)により評価する。	授業での課題の提出(50%)、定期試験(50%)とする。課題はその内容についても評価する。	
2	前	必修	1.5	薬理学1	大野	○		定期試験結果(100%)により評価する。	定期試験結果(70%)および復習課題レポート(30%)より評価する。	
2	前	必修	1.5	薬物治療学1	林哲・加藤隆	○		出席時の小テスト(10%)および定期試験(90%)にて評価する。	オンデマンド授業後の課題テスト(30%)および定期テスト(70%)にて評価する。	
2	前	必修	1	分析化学実習	天満・箕浦・佐藤卓・近藤	○	○	実地試験(30%)、レポート(30%)、筆記試験(30%)、および平常点(10%)とする。実地試験及びレポートの評価に関しては、別途配布するルーブリック評価シートに従って行う。	レポート(45%)、筆記試験(45%)、および平常点(10%)とする。レポートの評価に関しては、別途配布するルーブリック評価シートに従って行う。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施
2	前	必修	1	生物学実習	駒野・坂口・土屋・田中智・倉田	○	○	口頭試問：レポート：筆記試験=30：35：35の割合で評価する。口頭試問による実習内容の理解度の評価を、毎実習後の質疑応答によって行う。	オンデマンド課題（実習内容の理解度の確認）：レポート：筆記試験=30：35：35の割合で評価する。オンデマンドの課題を解答させることによって実習内容の理解度の確認する。	一部オンデマンド方式の授業を取り入れて実施

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
3	前	必修	1	異文化言語演習1	楠瀬	○		受講時の発表など講義への貢献（60%）とレポート提出2回（40%）により評価する。	Assignmentx8=(80)+Final Assignment(20)=100	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	城下	○		発表内容=60% [訳出]、演習へのコミットメント=40% [短文論述]。訳出・短文論述のいずれもその都度コメントして必要に応じて修正を求め、基準を満たせる内容になるよう指導する。	授業内課題提出=100% [訳出・短文論述]。訳出・短文論述については随時フィードバックするとともに、基準を満たさないものについては再提出を求める場合がある。	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	田邊	○		小テスト結果（60%）と発表・ディスカッション・積極的な発言（40%）により評価する。	課題100%	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	*中村恵	○		授業への積極的関与度（十分な予習をしているか否か、正しく訳せるか否か）20%、複数回の小テストと小レポート30%、期末レポート50%で評価する。	毎回提出の課題（100%）を基に成績評価します。	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	*樹矢	○		授業での発表（70%）、授業への取り組み(予習や取り組みの積極性)（30%）を元に総合的に評価する。	変更なし	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	*伊藤	○		定期試験（60%）、プリント等の提出物および授業態度（40%）により評価する。	最終週に予定していた「授業内試験」は実施困難な為、課題提出等100%とする。	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	*衛藤	○		小テスト30%、レポート30%、まとめの演習課題40%	レポート50%、まとめの演習課題50%	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	*中本	○		各自担当部分の発表（50%）、講義内における確認テストまたはレポート等の課題（50%）	各授業ごとに出される課題の評価（100%）	
3	前	必修	1	異文化言語演習1	*木村	○		発表内容・・・60% [提出課題の内容]、演習へのコミットメント=40% [訳出その他] 欠席は正当な理由のある、事前・事後の申し出のあったもののみ認める。	レポート課題（100%） 詳しくは第1回講義において発表	
3	前	必修	1.5	有機化学4	浦田・宇佐美・平野・山田・和田俊・米山・菊地・平田・林淳・葉山	○		定期試験結果（90%）および演習時の小テスト（10%）により評価します。	定期試験結果（90%）および授業毎に課す課題（10%）により評価します。	
3	前	必修	1.5	免疫学	土屋	○		定期試験(100%)により評価する。	変更なし	
3	前	必修	1.5	基礎漢方薬学	芝野	○		定期試験結果（85%）、レポート（15%）により評価する。	授業での課題の提出（50%）、定期試験（50%）とする。課題はその内容についても評価する。	
3	前	必修	1.5	衛生薬学2	佐久間	○		定期試験80%、ならびに2~3回のレポート20%により評価する。	定期試験80%、ならびに講義中の課題20%により評価する。	
3	前	必修	1.5	衛生薬学3	奥平	○		定期試験100%で評価する。	変更なし	
3	前	必修	1.5	ゲノム医科学	宮本	○		定期試験（80%）と受講態度（20%）により評価する。受講態度は、理解度確認テストによって評価する。	成績評価法について変更ありません。	
3	前	必修	1.5	応用分析学	佐藤卓	○		定期試験(70%：講義の回の内容45%、TBL演習の内容25%)、講義の回のポストテスト（5%）、TBL演習(25%：ノート；5%(ノートの評価に関しては別途配布するルーブリック評価シートに従って行う)、iRAT；5%、gRAT5%、アピール5%、ピアレビュー-5%(ピアレビューに関しては別途配布するルーブリック評価シートに従って行う))	定期テスト70%は変更なし。TBL、ポストテスト等の30%は動画の課題 30%に変更。	
3	前	必修	1.5	物理薬剤学	門田・戸塚	○		最低限の出席（全授業の2/3以上）は試験を受ける上で必修。定期試験により評価を行う（100%）。	課題（12回分/36点）：定期試験（64点）=合計100点	
3	前	必修	1.5	薬理学3	大野	○		定期試験結果（100%）により評価する。	定期試験結果（70%）および復習課題レポート（30%）より評価する。	
3	前	必修	1.5	生物薬剤学2	本橋	○		定期試験結果（100%）により評価する。	変更なし	

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
3	前	必修	1.5	薬物治療学3	松村・福森・幸田	○		定期試験結果（100%）により評価する。	計12回のオンデマンド授業の各回に確認テストを行う。各回の確認テストの得点率の計12回の平均値を求めて、100点満点換算して評価点とする。	
3	前	必修	1	医薬品情報学	角山・中村敏	○		授業中に実施する個人課題（レスポンス等によるミニテスト含む）40%、グループワークの成果物10%、定期試験50%により評価する。個人課題・グループワークの成果物については、「プレゼンテーション能力」のルーブリックを評価指標の一つとして利用する。	授業中・授業後に提示した課題 50%、定期試験 50%	
3	前	必修	1.5	生命医療倫理	阪本	○		・授業への参加態度（アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、課題小論文）…50% ・授業内試験（論述式）…50%	授業内課題…50%、授業内試験（論述式）…50%	
3	前	必修	1	有機化学実習	浦田・宇佐美・和田俊・米山・葉山	○	○	筆記試験(40点)、スペクトル解析試験(12点)および実習レポート(48点)の合計100点満点により評価する。	変更なし	一部オンデマンド形式の授業を取り入れて実施
3	前	必修	1	生物科学実習	福永・井上晴・藤森・宮本・藤井忍・藤井俊・前原	○	○	レポート(30%)、実習試験(40%)、実験操作（15%）、討論（15%）、により評価する。	レポート(40%)、課題(30%)、実験操作（15%）、討論（15%）により評価する。	一部オンデマンド形式の授業を取り入れて実施

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
4	前	必修	1	薬学英語（薬学科）	スミス・*神前・*堀・*村木・*天ヶ瀬	○		授業内の課題及び宿題（15%）、ロールプレイ（25%）、affix単語小テスト（30%）、授業最終日に実施する筆記試験（30%）	各Lessonの課題とaffix単語小テスト（30%） 動画作成課題（30%） 最終課題（40%）	
4	前	必修	1.5	バイオインフォマティクス（薬科学科）	井上晴		○	課題レポート40%、平常点60%（平常点とは毎回の講義で取り組む課題に対する理解度や態度を評価する）	変更なし	個別実施
4	前	選択	1.5	生物物理化学	友尾	○		定期試験（100%）の成績により評価する。	変更なし	
4	前	必修	1.5	分子設計学（薬科学科）	友尾		○	筆記試験、課題などを総合的に評価する。各評価の寄与率は次の通りである。筆記試験85%、課題15%	変更なし	個別実施
4	前	選択	1.5	薬品合成化学	宇佐美	○		定期試験の成績：90%、レポート点10%。	変更なし（今年度は各回の課題をレポート点に代用する）	
4	前	選択	1.5	医薬品化学（薬科学科）	平野	○		定期試験90%、講義中の小テスト10%で評価する。	定期試験90%、講義中の課題10%で評価する。	
4	前	必修	1.5	医薬品化学1（薬学科）	平野	○		定期試験90%、講義中の小テスト10%で評価する。	定期試験90%、講義中の課題10%で評価する。	
4	前	必修	1.5	薬事関連法・制度（薬学科）	恩田	○		定期試験結果（80%）と各講義終了時に行う確認テスト（20%）により評価する。	定期試験（80%）と小テスト（20%）により評価する。	
4	前	必修	1.5	薬理学4（薬科学科は選択）	大喜多	○		定期試験の成績により評価する（100%）	変更なし	
4	前	必修	1	臨床薬物動態学（薬学科）	宮崎・中村任	○		定期試験成績85%、ルーブリック評価点15% ルーブリックは第1講にて配布し解説する。	演習課題成績85%、ルーブリック評価点15% ルーブリックは第1講にて配布し解説する。	
4	前	必修	1.5	医療薬剤学（薬学科）	中村任・岩永・内田	○		到達目標について、定期試験（100%）を実施し、到達度を検定する。	変更なし	
4	前	必修	0.5	医薬品情報演習（薬学科）	角山・中村敏	○		グループ演習での取り組み姿勢（評価表に基づく相互評価等）30%、グループ演習での成果物（レポート、パワーポイント等）30%、準備学習として指示された課題レポート（内容・提出状況、レスポンスによる基礎知識の確認等）40%により評価する。グループ演習では、「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」のルーブリックを評価指標の1つとして利用する。	個人で実施した課題の成果物（レポート、パワーポイント等）60%、演習に必要な基礎知識の確認40%	
4	前	選択	1	臨床栄養学（薬学科）	*瀧谷	○		定期試験結果（80%）と小テスト（20%）により評価する。	定期試験100%	
4	前	選択	1	臨床感染症学（薬学科）	駒野・*浮村	○		定期試験(100%)により評価する。	変更なし	
4	前	選択	1	病態・薬物治療学演習（薬学科）	松村・林哲・駒野・福森・井尻・幸田・細畑・加藤隆・山口・内田		×	各グループ内でのSGDにおいて、担当教員が、学生ごと、及び、グループごとに評価する。また、班内でのグループ間ディスカッションについても、班内の教員で評価する。さらに最後の3回は全員が集合して、グループごとにプレゼンテーションを行うが、参加した各教員が、各グループに評価点を付け、平均値を出す。班内での個人に対する評価点（30点満点）、班内でのグループに対する評価点（30点満点）、全体会でのグループに対する評価平均点（40点満点）の総計を各学生の評価点とする。各教員が行う班内・グループ内での評価の点数に関しては、それぞれの班及びグループの間で不平等が生じないように、教員間で申し合わせることにし、必要があれば標準化する。	—	前期は開講しない（後期開講を検討中）
4	前	必修	1.5	生命医療倫理（薬学科）	阪本	○		・授業への参加態度（アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、課題小論文）…50% ・授業内試験（論述式）…50%	授業内課題…50%、授業内試験（論述式）…50%	
4	前	必修	4	臨床導入学習1（薬学科）	岩永・金・小森・中村任・中村敏・恩田・井上・神林・和田恭・角山・細畑・内田・羽田・庄司	○	○	学習評価表に基づいた評価（50%）、学習態度（40%）、小テスト（10%）の割合でD、P、C項目それぞれ評価し、最終的に合算したものを最終評価とする。なお、学習評価表に基づいた評価にはルーブリック表による評価（10%）を含む。	変更なし	一部オンデマンド形式の授業を取り入れて実施

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
4	前	必修	5	特別演習・実習（前期）（薬科学科）			○	研究態度、研究課題発表と質疑応答などから総合的に評価する。	変更なし	
4	通年	必修		特別演習・実習（薬学科）			○	研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。	変更なし	
5	通年	必修	10	病院実務実習	中村敏・中村任・恩田・金・小森・井上薫・神林・和田恭・角山・加藤隆・羽田		○	I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的（2～4週間毎を目安）に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したが評価する。 II.実務実習記録（日誌・レポート）による評価 実習生は、毎日の日誌に自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を簡潔に記録して指導薬剤師、教員等の指導者に提示する。指導者は、その日誌の報告が実習生の実習の進捗状況を確認するとともに、実習についてフィードバックを行う。実習生は、指導者のアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力の成長を確認する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。	現時点で変更なし	
5	通年	必修	10	薬局実務実習	中村敏・中村任・恩田・金・小森・井上薫・神林・和田恭・角山・加藤隆・羽田		○	I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的（2～4週間毎を目安）に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。 II.実務実習（日誌・レポート）による評価 実習生は自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を実務実習記録（日誌・レポート）に毎日簡潔に記録し、指導薬剤師及び教員等の指導者に提示する。指導者は、提出された当該記録の内容などに基づき、実習の進捗状況を確認するとともに、適宜フィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力を自覚し、自己成長の度合いを省察する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。	現時点で変更なし	
5	通年	必修		特別演習・実習			○	研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。	変更なし	

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
6	前	必修	1	薬局方総論	戸塚・芝野・山口	○		最低限の出席（全授業の2/3以上）は試験を受ける上で必修。定期試験のみで成績は判定し（100%）、担当教員3人の各々の範囲（戸塚60%、芝野20%、山口20%）の得点配分で定期試験を行う。	授業回数を戸塚4コマ（通則、製剤総則、一般試験法）、芝野2コマ（生薬総則、一般試験法）、山口2コマ（一般試験法）とし、それぞれの講義の課題点（40%）、定期試験（60%）で評価を行う。	
6	前	選択	0.5	先端分子医科学1	福永・坂口	○		各回の講義で提示する小レポートによって評価する（20%×5回）。	変更なし	
6	前	選択	0.5	先端分子医科学2	藤森・駒野・土屋	○		レポートの提出状況、内容により評価する（100%）。	変更なし	
6	前	選択	0.5	先端分子医科学3	駒野	○		各講師が指示する課題レポート（100%）を総合的に評価する。	変更なし	
6	前	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学2	井尻・福森・加藤隆	○		1コマで20点満点の小テストを行い、5コマで合計100点満点とする。評価点の寄与率は100%（5回の小テストの合計点）とする。	変更なし	
6	前	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学3	井尻・岩永・天満・平野・山田	○		1コマで20点満点の小テストを行い、5コマで合計100点満点とする。評価点の寄与率は100%（5回の小テストの合計点）とする。	変更なし	
6	前	必修	1	医薬品情報評価学	林哲・恩田・井尻	○		定期試験は行わない。授業中の小テスト（100%）で評価する。小テストは、5回行いその平均点で評価する。	変更なし	
6	前	選択	0.5	医療政策論	城下	○		定期試験による評価(90%)と講義中の小テスト(確認用紙として配布、10%)の評価を合算して最終的な評価とする。細かな内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	変更なし	
6	前	選択	0.5	医療倫理論	阪本	○		・授業への参加態度（アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む姿勢、課題小論文）…50% ・授業中ならびに最終回の授業で行う自己評価と相互評価（ループリック）…50%	授業内課題…60%、自己評価（問題解決能力の醸成に関するループリック）…40%	
6	前	選択	0.5	医療情報学	*野崎	○		期末試験70%、授業態度30%	期末試験70%、課題提出30%	
6	前	選択	0.5	漢方医学概論	芝野・*後山	○		定期試験結果（85%）、3回程度行う確認テスト（15%）により評価する。	課題提出（60%）、定期試験（40%）により評価する。	
6	前	選択	0.5	レギュラトリーサイエンス	奥平	○		定期試験70%、レポートの内容30%で評価する。	定期試験50%、講義中に行う演習問題50%で評価する。	
6	前	選択	0.5	創薬薬理学	大野・大喜多・清水	○		定期試験結果（100%）により評価する。	定期試験結果（70%）および復習課題レポート（30%）より評価する。	
6	通年	必修	3	薬学総合演習	大喜多（薬剤師国家試験対策委員長）	○		正規試験の結果に基づいて評価を行う（100%）。講義、補講、薬学総合演習総合試験への出席状況のチェックは厳格に行い、出席状況により正規試験の受験が認められないことがある。	変更なし	
6	通年	必修	18	特別演習・実習			○	研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。	変更なし	

*は、非常勤講師

平成29年度以前入学生 時間外科目

年次	期	必・選	単位	科目名	令和2年度担当者	オンデマンド 授業	対面授業	予定していた 成績評価方法	オンデマンド授業に伴う 成績評価方法（変更後）	備考
3	前	必修	1.5	コミュニケーション	*田中秀	○		定期試験60%、平常点40%（授業内で提示する小レポート課題）	学期末レポート60%、平常点40%（授業内で提示する小レポート課題）	平成30年度カリキュラムでは、配当なし
3	前	必修	1.5	薬用天然物化学2	谷口	○		定期試験結果（90%）とレポート課題（10%）により評価する。ただし、最終評価を受けるには定期試験の得点率が60%以上であることが必修です。	定期試験結果（90%）と復習課題（10%）により評価する。ただし、最終評価を受けるには定期試験の得点率が60%以上であることが必修です。	平成30年度カリキュラムでは、配当なし
4	前	必修	1	薬学英語1（薬科学科）	加藤隆			授業中に行う口頭試験により評価（100%）	毎回の講義の際に提出するレポートにより評価（100%）	個別対応
6	前	必修	0.5	病態・薬物治療学演習（薬学科）	井尻・福森・幸田・加藤隆	○		第1回目～第6回目までは各授業で提出頂いたレポートの評価点（各100%）、第7回目は授業内小テストの採点（100%）をそれぞれの担当教員に提出頂き、1～7回の点数を平均して最終的な評価点とする。	オンデマンド授業後に毎回行う確認テスト（25点満点）を合計して最終評価点とする。	平成27年度カリキュラムでは4年次前期に配当

*は、非常勤講師